

## 住職の写真日記より【令和2年5月】

5月に入っても一向に終息する気配のないコロナ。自粛により経済も大幅な売上減、解雇など深刻な影響が出ています。かわいそうなのは子供たち。長い休校でかなりストレスも溜まってきている事でしょう。行事はできませんが、ゆかり通信でつながって下さい。



2日 早咲きの桜です

コロナでもきれいに桜が咲き始めました。法務員さんが塀もきれいに塗ってくれました。



4日 千歳・秀法寺さんで

前坊守さん（私の叔母）の祥月命日で母とお参り。亡くなって20年になります。



7日 母の日に

弟と妹から今年も届きました。コロナで今年は帰省できないと残念がっています。



8日 ネット講義

大学が休校中で、インターネットで講義を聴いている純正、今はこんな時代なんですね。すごい！



10日 コロナで再版

20年前に出版された五木寛之氏の名著。実は私も読み返しています。文庫本は古くなっていて紙が変色していました。



14日 消毒液がお寺へ

札幌組から各お寺に届きました。以前は品薄でしたが、今は少し落ち着いたとか。ありがたいです。



16日 純正、京都へ戻る

1カ月半、お寺にいました。自粛で毎日退屈だったようです。坊守は純正ロスで、しばらくため息ばかりの毎日。



22日 足首ストレッチです

自粛による運動不足解消のため、坊守が母にプレゼント。本人はとても気に入っていて、毎日やっています。



27日 前住職祥月命でした

27回忌。今年はコロナのため、親戚は呼ばずに家族だけで勤めました。ちょっと寂しいお参りでしたね。

## 坊守の独り言

5月27日は前住職の祥月命日。今年で27回目の祥月命日です。この日は前住職の弟妹家族が集まりお勤め、おときを頂くのが毎年恒例行事でした。今年は新型コロナ感染予防のため住職、前坊守、私の3名だけでお勤め。京都に住む息子に「おじいちゃんの祥月命日だから本願寺にお参りに行きな」と言うのと「無理～」とあっけない一言。二言目に「ハンドソープが売っていないから送って」と連絡がありました。

先日の北海道新聞に「若い人に石鹸で手を洗ったら？と声をかけたら不思議がられた」とありました。まさしく息子も同じです。昭和の時代、手洗いは石鹸。マスクはガーゼが当たり前でした。小学校では空気清浄機も無く、窓を開けて換気するのも当たり前でした。昭和の生活のいいところを再発見したコロナの日常でした。